



海老江西小学校

所在地 〒553-0001 福島区海老江 8-1-10

電話番号 6451-3300

標準服 有り

校長名 堀尾 浩行

ホームページ <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531067>



学校概要

本校は平成 26 年に、創立 100 周年を迎えた歴史と伝統ある学校です。児童数 148 名と家族的な雰囲気の中で学ぶことが特色です。また同じ敷地内に「海老江西幼稚園」が併設されており、幼小で一緒に実施する運動会などの行事や小規模校ならではのたて割りによる様々な活動は子どもたちの「心の教育」につながっています。通学区内にある「八坂神社」では、地車が巡行する夏祭りが盛大に行われます。人情味のある地域の方々に見守られて、子どもたちは素直にすくすくと育っています。

沿革

- 大正 3 年 大阪府西成郡鷺洲第三尋常小学校として開校
- 昭和 16 年 大阪市海老江西国民学校と改称
- 昭和 22 年 大阪市立海老江西小学校と改称
- 昭和 59 年 講堂およびプール竣工
- 平成 2 年 現在の校舎竣工
- 平成 26 年 創立 100 周年記念式典挙行
- 令和 2 年 学校情報化優良校認定
- 令和 3 年 エレベーター新設
- 令和 5 年 学校情報化優良校更新
- 令和 6 年 創立 110 周年お祝い集会実施 (予定)

児童数 (令和 6 年 5 月 1 日現在)

学年	男子	女子	計	学級数
1	10	13	23	1
2	13	15	28	1
3	14	14	28	1
4	15	13	28	1
5	8	13	21	1
6	13	7	20	1
特別支援学級				3

令和 5 年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況

国語	算数
69	75

(平均正答率%) 小学 6 年生

これまでの成果と今後の課題

【国語】文章を読むことや情報の扱い読み取りについては力をつけてきています。書くことについては、問題の趣旨に沿って自分の考えをまとめる力をつけていく必要があります。今後も読書環境を整え、読書好きの子どもを増やす取組を進めていきます。また、一人一冊の辞書を学校で用意し、子どもたちが自分で適宜調べられるようにすることで語彙力の向上に努めています。

【算数】どの領域も力をつけてきています。特に「図形」や「データ利用」の問題では、全国に比べると正答率が高くなっています。今年度からは、3 年生以上の学年で「算数専科」を導入し、これまで以上にきめ細やかな指導をおこなっています。今後も児童が主体的に考え、対話的に学び、考えを出し合って深め合える授業づくりに取り組んでいきます。

体力・運動能力、運動習慣

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.15	16.31	33.08	41.08	43.69	9.51	139.23	19.08	49.38
女子	13.57	15.00	39.29	40.14	33.00	9.87	132.86	12.57	50.71

(平均値) 小学 5 年生

これまでの成果と今後の課題

本校では、「運動やスポーツ好きの子どもを育てる」ことを目標に、体育科の授業を工夫したり、休み時間には全校で「チャレンジタイム」という取組を計画的に設定したりしてきました。特に「チャレンジタイム」には、「マット運動週間」「跳び箱週間」「鉄棒週間」「かけ足週間」「なわとびタイム」「大なわタイム」など様々な工夫した取組を進めることで、体を動かす楽しさを味わわせるとともに、運動習慣の少ない子どもたちにも継続して運動できる時間を確保し、「やったあ!」「できた!」という喜びや自己肯定感を高められるようにしています。その結果「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対する肯定的な回答は 100% という結果をえられることができました。今後もさらに工夫して取り組んでいきます。

海老江西小学校の教育

～学校教育目標～ 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる



授業風景 ICT機器活用



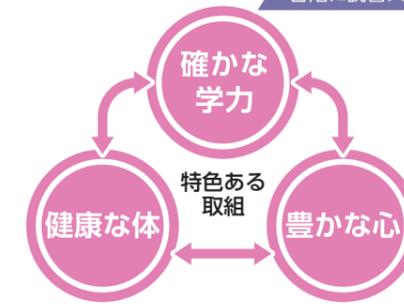
各階に読書スペース



防災教育 (安全教育)



作品展



併設幼稚園との交流



運動会 (幼稚園と一緒に)



地域との連携 (夏祭ふれあいタイム)



春の全校遠足 (たてわり班での様々な活動)



チャレンジタイム① (全校一斉の運動期間)



チャレンジタイム② (個別の指導)



林間学習 (神鍋高原)

子どもたちどうしの「つながり」や先生との「つながり」、地域との「つながり」など人と人の「つながり」を大切にしたい教育を行っています。



修学旅行 (鳥羽・伊勢)

運営に関する計画 (一部抜粋)

安全・安心な教育の推進

●小学校学力経年調査における「はじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。

●学校生活児童アンケートにおける「たてわり班や登校班活動でみんなのことを考えて、進んで協力することができましたか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

●小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合の対象学年の平均値を 85%以上にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上

●小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。

●小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

●小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

学びを支える教育環境の充実

●授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。

●小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

●学校生活児童アンケートにおける「学校の授業はわかりやすいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。